

対象(目安)			
幼児	小学校		中学校
幼児	低学年	中学年	高学年 全学年

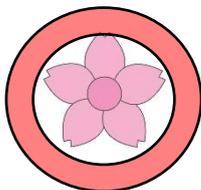
葉っぱアートを楽しもう



プログラムの概要

身近にある様々な種類の木の葉を材料として、色や形から頭の中に潜んでいる生き物のイメージをカタチにしていくものです。季節とともに変化していく美しい自然の中で、自然と子供たちが仲良くなるプログラムです。

活動時期



天気



目安の時間

2~3 時間



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家



必要な道具

【自然の家でレンタル可】

◇はさみ

【持参】

◇台紙(画用紙など) ◇クレヨン ◇目玉用のシール ◇スティックのり
◇ビニール袋 ◇保護フィルムシール ◇額

・・・葉っぱアートの楽しみかた・・・

(1) 事前学習 (自然の家に来る前の学習)

どんな動物をつくりたいか設計図を書いて夢を膨らませておきましょう。

(採取したものから考えても良いでしょう。)

(2) 自然の家での活動

①葉っぱを探しに行こう「葉っぱはどんなところにあるのかな？」

●できるだけ、たくさんの種類の葉っぱを集めましょう。
●平らな葉っぱのほうが、並べやすいです。
●植物にも命があることを伝え、作品を作る目的以外はむやみに採らないことも伝えましょう。

②大まかな動物のカタチを決めて、葉っぱを貼ろう！

画用紙に、クレヨンやペンなどで、つくりたい動物のカタチをざっくりと描いてみましょう。

カタチが決まったら、葉っぱの茎を切ってのりを塗り、動物のカタチに合わせて貼っていきます。

●平らな葉っぱのほうが、並べやすいです。
●葉っぱの向きを同じにするときれいに仕上がります。

③体ができたら目をつけてみよう！

目玉の大きさを変えたり、小さな白いシールを貼ったりして、表情の変化をつけると楽しいです。

魚をつくる場合にはうろこをイメージして貼ってみましょう。尾ビシ・背ビシ・胸ビシをつけると、より魚っぽくなりますヨ



④名前をつけよう！

自分だけの動物が完成したら、名前をつけてみましょう。

自分の名前が入っていたり、色や形、葉っぱの種類などをいかした名前にしたりしてもいいですね。

⑤みんなの動物を見てみよう！

完成した作品を並べてみると、とても美しいです。

また、それぞれどんな特徴をもった動物なのか1人ひとり発表してみましょう。色が美しい、毒をもっている、隠れるのが得意・・・など、さまざまな表現に耳を傾けましょう。



・・・参考文献・・・

「リーフフィッシュ」：2013 本田 亮 著 フレーベル館

発行日：令和3年4月

発行：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家